

JASDAQ  
証券コード：4970  
URL <http://www.toyogosei.co.jp/>



◎ TOYO GOSEI

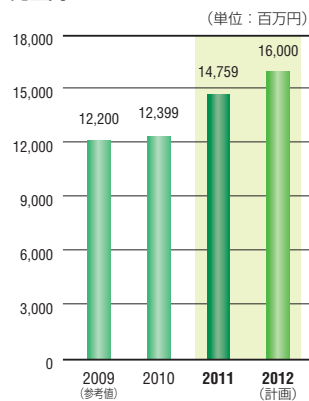
第61期 報告書  
(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

◎ 東洋合成工業株式会社

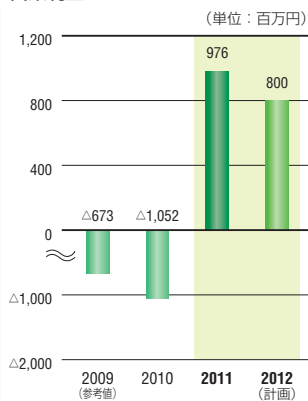
# Financial Highlight

## 財務ハイライト

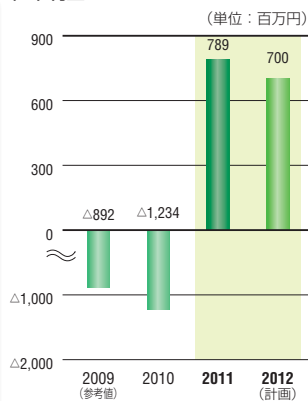
売上高



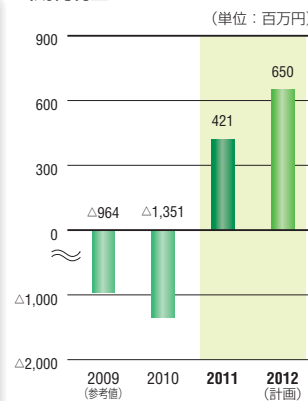
営業利益



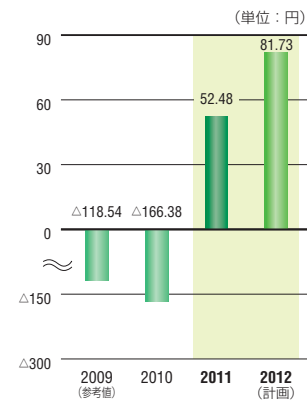
経常利益



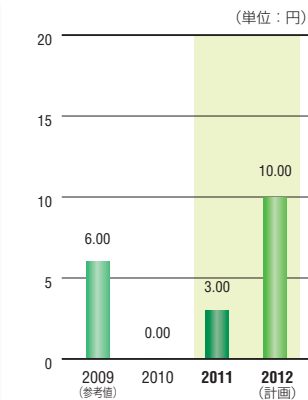
当期純利益



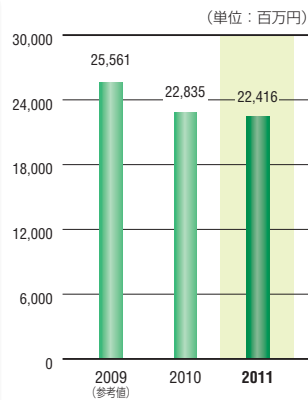
1株当たり当期純利益



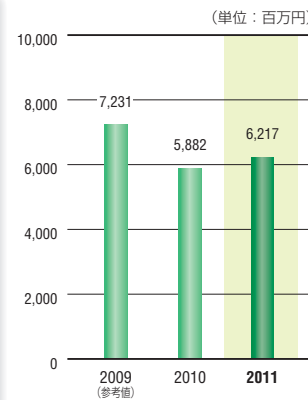
1株当たり配当金



総資産



純資産



※当社は、株式会社トランスパレント社を今後の有力な成長分野と見込み、平成22年3月期より、同社を当社連結対象といたしました。

# Message to Our Stakeholders

株主の皆様へ

## ■ ご挨拶

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、この度の東日本大震災により被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げます、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

第61期の世界経済は、新興国を中心に景気回復の動きが見られた反面、欧米での信用不安の顕在化や中東での政情不安が続きました。一方、国内経済は、急激な円高の進行および東日本大震災により深刻な影響を受けるなど、先行き不透明感が強まっております。

当社グループでは、東日本大震災により一部設備の被害および計画停電等による影響があったものの、操業に深刻な影響を及ぼす被害はなく、震災発生から約10日前後で早期復旧を果たしております。

かかる状況下におきまして、当期の決算といたしましては、需要の回復および研究開発段階からお客様との関係構築に努めるとともに、経費削減や原価低減活動等のコスト対策を継続させた結果、3期振りに黒字転換を図ることができました。

当期末の剰余金の配当につきましても、黒字決算に伴い復配とし、1株当たり3円といたしました。また、内部留保金につきましても、財務体質強化および今後の新たな成長のための投資資金に充当し、株主の皆様へ還元できるよう取り組んでまいります。

## ■ 当期の連結経営成績（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(単位：百万円)	当期実績
売上高	14,759
営業利益	976
経常利益	789
当期純利益	421

### 【感光性材料事業】

液晶ディスプレイの製作時に使用される感光性材料は、主に中国を始めとした新興国の経済成長に牽引され、堅調に推移いたしました。また、半導体用途向け感光性材料におきましても、スマートフォンや多機能携帯端末を始めとした電子機器の需要拡大を背景に好調に推移いたしました。

今後も引き続きコスト削減による既存製品の競争力向上を図るとともに、先端技術品の販売増大を進め、収益基盤の強化に努めてまいります。

### 【化成品事業】

香料材料部門は、主に新興国におけるトイレタリー市場の成長を背景にお取引が増加しております。また、グリーンケミカル部門は、高付加価値品と溶剤リサイクルを中心に市場開拓を進め、電子材料業界を中心に需要は堅調に推移いたしました。ロジスティック部門は、お客様満足度の向上に努め、引き続き高水準のタンク契約率および高い荷動き量を維持しております。

## ■ 次期の連結業績見通し（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(単位：百万円)	次期の見通し
売上高	16,000
営業利益	800
経常利益	700
当期純利益	650

感光性材料事業およびグリーンケミカル部門の主要関連業界であるエレクトロニクス業界は、引き続き新興国を中心に堅調に推移する見通しです。また、香料材料事業も生活必需品から香水に至るまで幅広い分野で使用されており、需要の増加が見込まれております。

この需要増加の取り込みおよびお客様への安定供給継続の観点から、現在、千葉県香取郡東庄町および兵庫県淡路市への新工場建設計画を進めております。投資計画の具体的な内容につきましては、決定次第、当社ホームページ等でお知らせいたします。

今後、当社グループがより一層の成長を果たすためには、海外市場を開拓し、販路を広げる必要があります。その実現には、国際営業力を高めるとともに、本社部門が中心となり組織機能の強化を図ることが求められます。このための施策の一つとして、4月18日付にて本社機能を千葉県市川市から東京都中央区日本橋へ移転し、営業部門との一体化をいたしました。

当社グループのさらなる成長に向け、研究開発のスピードアップおよび収益体質を強化し、全社を挙げて国際競争を勝ち抜く事業基盤づくりを進めてまいります。今後も株主の皆様のご期待に応えるべく一層の業績向上に努めてまいりますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

平成23年6月



代表取締役社長

木村正輝

# Segmental Information

## 感光材事業本部

感光材事業  
エネルギー事業

売上高  
**7,516**百万円  
前年比 +1,434百万円  
(+23.6%)

## 化成品事業本部

香料材料事業  
グリーンケミカル事業  
ロジスティック事業

売上高  
**7,242**百万円  
前年比 +924百万円  
(+14.6%)

### 感光材事業 液晶テレビや半導体の製造を支えています



感光材は、液晶テレビや半導体の製造工程で使用される微細構造を形成する材料であるフォトレジストの原材料になります（フォトレジストは、感光材と溶剤等から作られます）。当社の感光材は高性能かつ高品質の製品として高い評価をいただいております。世界トップクラスのメーカーとして高いシェアを有しています。また、大学と共同で次世代型の感光材の研究開発にも積極的に取り組んでおります。

所在地：千葉工場（千葉県香取郡東庄町）

### エネルギー事業 燃費の向上やCO<sub>2</sub>削減に寄与する未来の液体



近年、各自動車メーカーでは、ハイブリッド自動車や燃料電池車にエネルギーの有効利用を目的とした電気二重層キャパシタを搭載することが検討されています。当社では、この電気二重層キャパシタ用の電解液及びイオン液体の製造販売を行っています。イオン液体の使用は多くの分野で研究されており、環境負荷の少ないグリーンケミストリー用反応溶媒や安全で高性能な次世代電解質としての活用が望まれています。また、フォトレジスト用現像液TMAHの製造販売も行っています。

所在地：千葉工場（千葉県香取郡東庄町）

### 香料材料事業 世界に広がる香りをつくる



食品（フレーバー）や化粧品（フレグランス）製品の単品香料を作っているのが、香料材料事業部です。食品や化粧品の香りは、何十種類もの単品香料を香料会社に調合し、1つの香りが作られます。当社ではその香りの素となる単品香料を世界各国の大手香料会社に販売しています。当社の単品香料は、香料として一番重要な“匂い”の安定を特徴としており、国内外に幅広く販売しています。

所在地：市川工場（千葉県市川市上妙丸）

### グリーンケミカル事業 地球温暖化、大気・水質汚染問題解決に貢献



塗料、電子・電気部品、自動車、製薬、化学等広範な分野で多様な有機溶剤が使われています。使用後の廃溶剤の多くは再利用されることなく大気へ放出もしくは、燃焼処理されてきました。当社はユーザーで使用された廃溶剤を引き取り、再利用できるように精製を行い、新品同様に蘇らせます。当社では特に高度な蒸留技術が求められる半導体などの電子部品材料用溶剤のリサイクルで高い実績を誇っています。

所在地：市川工場（千葉県市川市上妙丸）

### ロジスティック事業 月間200隻の船舶と3,000台のローリーに対応



高浜油槽所において、大手石油化学メーカーや商社の液体化学用品を船で受け入れ、一時保管し、タンクローリーで関東各地のユーザー様へ配送を行っています。受け入れ船舶は月間200隻、ローリーでは3,000台の出荷に対応できます。また、化学メーカーとして長年培ってきた化学品の取り扱い、管理、分析の技術と最新の設備により、安全かつ環境にも配慮した万全の物流体制を備えています。

所在地：高浜油槽所（千葉県市川市高浜町）

### 新規事業開発 ナノテク分野、バイオ分野の研究開発



ナノテク分野では、UVナノインプリント専用の樹脂を世界で初めて発売しました。ナノインプリントは、他の微細加工技術では困難な大面積加工が可能のため、次世代型加工技術として注目されています。

バイオ分野では、新薬開発における探索研究や前臨床試験を支援する製品「Cell-able（セルエイブル）」のプレートを製造しています。製薬メーカーは、Cell-able使用による研究開発費の削減、開発期間の短縮に期待を寄せています。

所在地：感光材研究所（千葉県印西市）

# Information

## お知らせ

### 兵庫県淡路市への工場建設計画について

#### 【目的】

工場立地リスクの分散と近時電子・電池材料市場での需要の取り込み、および急速な成長が見込まれる関西市場での戦略的な生産拠点として位置付け、更なる事業の発展を目指します。現在、着工に向けた手続を進めております。

#### 【所在地】

兵庫県淡路市生穂新島9番1  
 (本州と四国を結ぶ交通の要衝に位置する津名生穂地区産業用地内)

#### 【敷地面積】

約50,500平方メートル



# Financial Statements

## 財務諸表（要旨）

### ■ 貸借対照表（連結）

（千円未満切捨表示）

科 目	当期末	前期末
	平成23年3月31日現在	平成22年3月31日現在
資産の部		
流動資産	8,023,243	7,588,249
固定資産	14,393,404	15,247,265
資産合計	22,416,647	22,835,514
負債の部		
流動負債	9,704,170	9,957,298
固定負債	6,495,173	6,995,980
負債合計	16,199,343	16,953,278
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,618,888	1,618,888
資本剰余金	1,541,589	1,541,589
利益剰余金	3,151,504	2,730,062
自己株式	△ 83,162	△ 12,578
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△ 11,780	2,668
少数株主持分	264	1,605
純資産合計	6,217,303	5,882,235
負債純資産合計	22,416,647	22,835,514

### ■ 損益計算書（連結）

（千円未満切捨表示）

科 目	当 期	前 期
	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日	自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日
売上高	14,759,113	12,399,317
売上原価	11,503,587	11,494,127
売上総利益	3,255,526	905,190
販売費及び一般管理費	2,279,268	1,957,856
営業利益	976,257	△ 1,052,665
営業外収益	70,028	109,613
営業外費用	257,040	291,239
経常利益	789,245	△ 1,234,292
特別利益	622	19,851
特別損失	459,828	129,531
税金等調整前当期純利益	330,039	△ 1,343,972
法人税等	△ 90,061	8,628
少数株主損益調整前当期純利益	420,101	-
少数株主損失	△ 1,340	△ 1,115
当期純利益	421,441	△ 1,351,485

### ■ キャッシュ・フロー計算書（連結）

（千円未満切捨表示）

科 目	当 期	前 期
	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日	自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,240,950	3,075,071
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 726,684	△ 1,560,987
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,754,110	△ 1,227,928
現金及び現金同等物の期末残高	576,535	829,473

### ■ 株主資本等変動計算書（連結）（当期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

（千円未満切捨表示）

	株主資本					その他の包括 利益累計額	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成22年3月31日残高	1,618,888	1,541,589	2,730,062	△ 12,578	5,877,961	2,668	1,605	5,882,235
当期中の変動額								
当期純利益			421,441		421,441			421,441
自己株式の取得				△ 70,583	△ 70,583			△ 70,583
株主資本以外の項目の 当期中の変動額						△ 14,448	△ 1,340	△ 15,789
当期中の変動額合計			421,441	△ 70,583	350,858	△ 14,448	△ 1,340	335,068
平成23年3月31日残高	1,618,888	1,541,589	3,151,504	△ 83,162	6,228,819	△ 11,780	264	6,217,303

# Stock Information

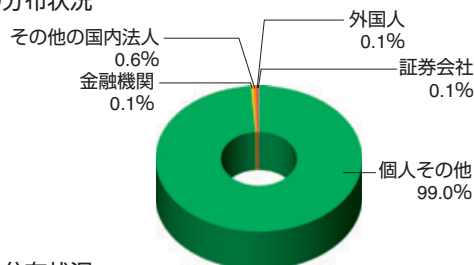
## 株式の状況 (平成23年3月31日現在)

■ 発行可能株式総数	30,000,000株
■ 発行済株式総数	8,143,390株
■ 株主数	10,127名
■ 大株主	

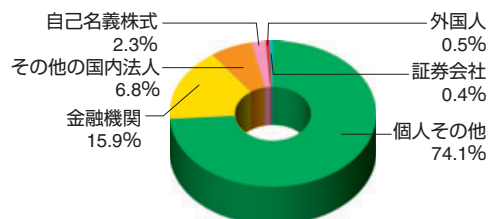
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
木村正輝	1,637	20.59
木村有仁	394	4.96
木村愛理	383	4.82
(株)千葉銀行	298	3.75
(株)東京都民銀行	298	3.75
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	248	3.12
(学)早稲田大学	200	2.51
片岡文子	163	2.06
東洋合成工業社員持株会	161	2.03
木村泰成	130	1.63

(注) 持株比率は自己株式(190千株)を控除して計算しております。

### ■ 株主の分布状況



### ■ 株式の分布状況



# Corporate Profile

## 会社の概要 (平成23年3月31日現在)

■ 商号	東洋合成工業株式会社
■ 本店所在地	千葉県市川市上妙典1603番地
■ 本社 (本社および営業部門)	東京都中央区日本橋1丁目13番1号 日鐵日本橋ビル4F
■ 設立	昭和29年9月27日
■ 資本金	1,618,888,703円
■ 従業員数	391名
■ 事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>有機工業薬品・有機溶剤等の製造並びに販売</li> <li>画像形成用の感光性材料等の製造並びに販売</li> <li>電子表示機器の材料等の開発、製造並びに販売</li> <li>電池材料並びに電気二重層材料等の研究開発、製造並びに販売</li> <li>酵素蛋白、細胞を特定形状化するための感光性樹脂の研究開発、応用品の製造並びに販売</li> <li>化学機械・装置(反応用機器、蒸留塔、抽出器、濾過器、乾燥機等)の設計、製作並びに設置工事</li> <li>前各号に掲げる物品の輸出及び輸入</li> <li>倉庫業</li> <li>貨物運送取扱業</li> <li>前各号に付帯関連する一切の事業</li> </ol>
■ 事業所	千葉工場 千葉県香取郡東庄町宮野台1番51号 市川工場 千葉県市川市上妙典1603番地 高浜油槽所 千葉県市川市高浜町7番地 感光材研究所 千葉県印西市若萩4丁目2番1号
■ 関係会社	株式会社トランスバレント TG Finetech Inc.

### ■ 役員

代表取締役社長	木村正輝
専務取締役	川村繁夫
常務取締役	木村有仁
取締役	菊地英夫
	渡辺宏一
	出来彰一
上席執行役員	坪田順一
執行役員	萩原勇一
	佐藤健太郎
	多田優
	島川優
監査役	伊藤衛
	萩原正一
	宇田川進
	鳥井勉

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
剰余金の配当の基準日	3月31日 中間配当を実施するときは9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日 ※その他必要がある場合は、予め公告いたします。
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.toyogosei.co.jp/ir/koukoku.html">http://www.toyogosei.co.jp/ir/koukoku.html</a> ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 株式の諸手続き	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。 特別口座をご利用の株主様は、みずほ信託銀行株式会社0120-288-324 (フリーダイヤル)までお問い合わせください。



当社は、事業運営状況や投資家向けの情報公開をするにあたり、Webを主要な手段の1つだと考えております。当社Webサイトでは、最新情報を随時更新しておりますので、是非ご覧ください。

当社は、企業活動による地域環境負荷の低減に努め、企業活動を通じて地球環境の改善に貢献できるよう取り組んでおります。環境レポートには、当社の環境および、安全への取り組みを掲載しておりますので、是非ご覧ください。

※環境レポートは当社Webサイトに掲載しております。

<http://www.toyogosei.co.jp/>

 **東洋合成工業株式会社**

〒103-0027 東京都中央区日本橋1丁目13番1号 日鐵日本橋ビル4F  
TEL03-3548-4970 FAX03-3548-4961  
E-mail : [ir@toyogosei.co.jp](mailto:ir@toyogosei.co.jp)

